

# 北海道足寄町における「第一生命の森」づくり ～【国内生保業界初(※1)】森づくりと併せて足寄町を含む北海道内4町の 森林から生み出されたCO2オフセット・クレジットを購入～

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、森林保全団体である一般社団法人 more trees(代表理事:坂本龍一、以下「more trees」)の協力を得て、北海道足寄町(町長:渡辺俊一、以下「足寄町」)において、「第一生命の森」づくりをスタートしました。併せて、別途、足寄町を含む北海道内4町の森林から生み出されたCO2オフセット・クレジットを購入いたします。

森づくりと、CO2オフセット・クレジット購入の同時取組みは、国内生命保険業界初の取組みです。

当社は、将来世代を含むすべての人の「well-being」へ貢献するため、その前提となる持続的社會を実現するべく、気候変動をはじめとする地球環境問題の解決に向け、順次、取組みを進めています。また、2022年9月に創業120周年を迎えることを機に、2021年9月に「しあわせだ・い・い・ちプロジェクト」(※2)を立ち上げ、「みんなのしあわせ」「地域のしあわせ」「地球のしあわせ」の「3つのしあわせ」の実現を掲げ、さまざまな具体的プロジェクトを展開しています。

「第一生命の森」づくりは、地球環境問題の解決＝「地球のしあわせ」を切に願う、当社の想いを未来につなげる、新たな一歩と考えています。

「第一生命の森」は、森林による二酸化炭素の吸収効果はもとより、ミズナラをはじめ、地域に適した複数樹種を植えることで、「森林」の多様性確保や、生物多様性の保全につながる森を目指します。さらに、足寄町・足寄町民の皆さん、並びに、more trees と共に植林活動(※3)を実施することで、地域に根差しつつ森林保全の専門的知見も踏まえた森づくりを行っていきます。こうした取組みは、SDGs 目標13.「気候変動に具体的な対策を」や、同15.「陸の豊かさを守ろう」、同17.「パートナーシップで目標を達成しよう」の具体的取組みであり、意義あるものと考えています。



CO2オフセット・クレジットは、北海道内の4町(下川町、足寄町、滝上町、美幌町)で構成する「森林バイオマス吸収量活動推進協議会」が創出したものを購入します。CO2オフセット・クレジットの購入を通じ、森林保全や生物多様性の保全、地域社会や産業の発展に貢献するとともに、当社のCO2排出量の削減にも活用していきます。

(※1) 2022年3月23日当社調べ

(※2) 「しあわせだ・い・い・ちプロジェクト」の具体的な内容はこちらをご参照ください <https://dai-ichi-life-120th.com/>

(※3) 苗木の植栽、下刈り・除伐等

■ 全体像

## 第一生命の森



CO2オフセット・クレジット

Supported by *moreTrees*®

一生涯のパートナー

第一生命

---

 Dai-ichi Life Group



HOKKAIDO ASHORO-TOWN  
**北海道十勝 足寄町**

森林バイオマス吸収量  
活動推進協議会

■ 「第一生命の森」の概要

場所	北海道足寄町 里見が丘地区
規模	1ha (※)2022 年度の実施規模。順次拡大予定
樹種	ミズナラ (※)2022 年度の樹種。来年度以降は、あらためて検討。
協働団体	北海道足寄町 ( <a href="https://www.town.ashoro.hokkaido.jp/">https://www.town.ashoro.hokkaido.jp/</a> ) 一般社団法人 more trees ( <a href="https://www.more-trees.org/">https://www.more-trees.org/</a> )

■ 2022 年 6 月 10 日～11 日に実施した植樹イベントの様子

【3 者協働宣言】

【植栽の様子】

【参加者の皆さま】



(左から、当社常務執行役員 下川泰孝、  
足寄町 渡辺俊一町長、  
more trees 水谷伸吉事務局長)

以上